

政治史(西洋)Ⅰ

科目ナンバリング POL-105
選択 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

ヨーロッパの国際関係史の大きな流れとそれを理解するための理論・概念について講義する。世界の国際関係の動きの基礎となる歴史を習得する。

2. 授業の到達目標

①ウェストファリア体制・西欧主権国家体制の確立からはじまるヨーロッパ国際関係の歴史の概要を理解し、今日の欧州政治を理解する基礎作りをする。②今日の国際関係の前提を把握できるだけの頭づくりを行う。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(60%)・出席(40%)などによる総合評価

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊啓貴 『ヨーロッパ国際関係史』 有斐閣

参考文献

ルネ・ジロー 『国際関係史1871-1914年』 未来社

5. 準備学修の内容

教科書をあらかじめ読むと同時に、日ごろから授業で取り上げた文献などに目を通しておくこと

6. その他履修上の注意事項

歴史は出席していないとわからなくなるので休まず出席すること

7. 授業内容

- 【第1回】 国際政治史とは---西欧政治外交史の考え方と学び方
- 【第2回】 ヨーロッパの国民国家の形成---国民概念と主権概念
- 【第3回】 西欧主権国家体制の確立から絶対王制時代の戦争と勢力均衡体系①
- 【第4回】 西欧主権国家体制の確立から絶対王制時代の戦争と勢力均衡体系②
- 【第5回】 近代西欧社会の発展 (1)イギリス市民革命
- 【第6回】 近代西欧社会の発展 (2)フランス革命と防衛戦争
- 【第7回】 ウィーン体制とヨーロッパの協調
- 【第8回】 19世紀ヨーロッパ資本主義の発展
- 【第9回】 ビスマルク外交
- 【第10回】 帝国主義時代
- 【第11回】 第一次世界大戦への道
- 【第12回】 第一次世界大戦の原因論と戦争
- 【第13回】 ロシア革命
- 【第14回】 パリ講和会議と戦後秩序
- 【第15回】 まとめと期末試験